



学校だより

第103号 平成27年10月23日

今年度も「打って出る！」Part 2

副校長 山本 浩

徐々に秋が深まり過ごしやすい気候となりました。9月末から10月にかけて学校では、修学旅行・宿泊学習・遠足・高等部の現場実習等、様々な学校行事が展開されています。児童生徒たちは様々な体験を通して豊かな心を育み、今後一層の成長が期待されます。

さて、「学校だより第99号」で、昨年度に引続き「打って出る！」のスローガンのもと、金沢養護学校が地域により強く意識して頂く存在となるため、学校の取り組みを様々な形で発信し、地域とのつながりを強め、また、地域からの理解を深めるために、地域との関係づくりの一層の深化を図りたいとお知らせしました。

今回は、地域との関係づくりを担い、まさに地域に「打って出る！」の最前線で活躍している「地域支援」についてご紹介します。

金沢養護学校の地域支援

金沢養護学校の運営組織は、3学部（小中高）・2教育部門（肢体不自由教育・知的障害教育）を柱に4つの校務グループ（教務・研究グループ、指導・健康グループ、環境・安全グループ、連携・支援グループ）で構成され、さらに、校務グループは様々な業務を効率的・機能的に展開するために、それぞれ4チームにより構成されています。「地域支援」は連携・支援グループの地域支援チームが担当しており、次の内容で活動しています。

◆地域の社会資源と本校に通う児童生徒の各家庭を繋ぐ

＜障害のある方々が安心して暮らせる様々な支援プログラム等の情報収集と発信＞

- ・各種関係機関のネットワーク会議等に参加し支援事業の情報収集

⇒分類・整理、情報のシンクタンク

⇒ニーズの高い情報（一時ケアやショートステイ、ボランティアや事業所による通学支援、休日の余暇支援プログラム等）を精査し「支援だより」等で情報発信

◆地域の特別支援教育に対する支援のセンター機能

＜障害児者に対する理解・啓発の推進、巡回相談 他＞

- ・地域からの要請等、機会を捉えての講演講師

・近隣の小中高等学校からの要請による、特別支援学級の児童生徒や困り感をもった高校生への支援を目的とした巡回相談

- ・本校での各種教育相談

様々な地域支援を積極的に行い、地域との連携を強化し「打って出る！」を推進します。